

# Better Care

介護新時代の情報誌  
[ベターケア]第28号  
秋 2004  
Autumn

【特集】

最期まで自宅や地域で生きる

## 暮らしを支える医療

■伊藤真美医師（千葉県千倉町・花の谷）

■新田國夫医師（東京都国立市・新田クリニック）

■名取雄司医師（東京都江東区・ひまわり診療所）

● 出会いの風景 「有珠山」（北海道伊達市）

● 明日に向けてのモノローグ 加藤雄章「居合道道士」

● 廣子のカンタン・クッキング 「菜っ葉で元気」

● かつきメイクで心も元気 「顔は立体——正面顔と横顔を知ろう」

● ドキュメント

## 百人百色の介護

飯田市、川崎市宮前区、伊達市、尼崎市



109  
←

# Barrier-Free Tour Report

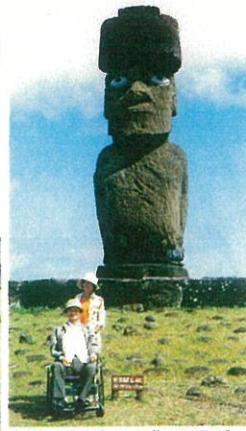
10月5日出発

世界遺産 イースター島&タヒチ 8日間

## 最短距離で、あしがれのモアイに出会う！



(上) 多くのモアイの中でもこのものが最高  
(左) 現地スタッフが車いすの移動を補助



島の中では唯一の目がついたモアイの前で

今回の旅は、お客様9名(車いす利用者4名)と添乗員1名でした。1日目は成田空港を発してフランス領ポリネシア・タヒチに向かいました。モアイのあるイースター島はチリの領土なので通常は、アメリカの都市とチリ・サンチアゴ経由でご案内するツアーが多いのですが、バリアフリー旅行センターでは、お客様の体力などを考えて太平洋を横断するタヒチ経由を選択しました。タヒチに到着後は、



少しタヒチ観光(ゴギャン博物館等)をご案内し、最高級ホテル・インターコンチネンタルホテルの水上コテージで、2日目の夜出発までゆっくり



飛行機への乗降は車いすでも簡単

りリゾート気分を味わっていただきました。いよいよ2日目の夜にイースター島に向かって出発、所要時間約5時間の旅です。時差が5時間あるので到着はお昼頃になります。到着後、小さい建物の入国審査場と預け荷物受取場を抜け、現地の日本人ガイドさんと合流していったんホテルに向かいました。イースター島は、ヒルトンやシェラトン等の大型ホテルの進出を認めておらず、島には小さな民宿程度の平屋のホテルがいくつかあるだけです。今回は「ホテル・タハタイ」に3

泊泊しました。イースター島は、日本で言う「淡路島」程度の小さな島で日本の忙しいバス旅行ですと1日で観光が出来てしまうようなところなので4日間の滞在ですと本当にゆっくりすることができました。イースター島での「モアイ信仰」は、9世紀頃から、モアイ倒し戦争が活発化する17〜18世紀まで、現在は写真のように復元された一部立ちあがった状態になっていますが、

近年まで島内のモアイはすべて倒された状態でした。南太平洋の真ん中に位置し、人の住んでいる大陸からは3700キロメートルも離れており、今でもイースター島のモアイは、多くの謎につつまれております。イースター島の観光は当然モアイ像が中心となります。ほとんどの箇所ですり利用の方でもモアイに近づけることができ、お客様もモアイ像の大きさに大変感動されて



インターコンチネンタルホテルの水上コテージ

いました。トイレは車いす対応のものはあまりありませんが、比較的きれいな洋式トイレを1時間30分から2時間の間隔で案内でき、バスもリフト付きバスはありますが、現地の数名のスタッフがお客様の車いすを運んでくれたり、おんぶしてくれたり大変活躍していただいたので、無事にツアーを終えることができました。今回の旅は南米チリという大変遠い場所への観光でしたが、タヒチとも大変ゆとり過ぎることができ、皆様体的にも問題なかったと大変ご好評いただきました。来年もまた企画しますのでご興味のある方は是非お問い合わせください！

紀頃から、モアイ倒し戦争が活発化する17〜18世紀まで、現在は写真のように復元された一部立ちあがった状態になっていますが、近年まで島内のモアイはすべて倒された状態でした。南太平洋の真ん中に位置し、人の住んでいる大陸からは3700キロメートルも離れており、今でもイースター島のモアイは、多くの謎につつまれております。イースター島の観光は当然モアイ像が中心となります。ほとんどの箇所ですり利用の方でもモアイに近づけることができ、お客様もモアイ像の大きさに大変感動されて



# 移動のよろこびを、愛するひとに。

車いすのまま

助手席に乗り降りできます。

※専用車いすでの乗り降りになります。

New サイドアクセス車

1車種



ポルテ(専用車いす仕様)

シートが回転・スライドして  
乗り降りをサポート。

助手席回転スライドシート車

21車種



プリウス

後席回転シート車

4車種



ラウム(後席回転スライドシート車)

車いすのまま

車に乗り降りできます。

車いす仕様車

13車種



シエンタ(スロープタイプ)

シートが車外へスライドダウン。  
よりスムーズに乗り降りできます。

助手席リフトアップシート車

25車種



パッソ

サイドリフトアップシート車

9車種



アルファードハイブリッド(脱着タイプ)

足の不自由な方が  
ご自分で運転を楽しめます。

フレンドマチック

21車種



エスティマL(ウエルドライブシステム)

※車種数は平成16年9月末現在。※写真の車両には、一部オプションが含まれております。

ウエルキャブは、すべてのトヨタのお店で  
ご購入いただけます。車種により取扱いのお店が異なります。

詳しくは <http://toyota.jp/welcab>

365日お車選び、装備の使い方、メンテナンス、最寄の販売店、その他カーライフに関することなどお気軽にご相談ください。  
[トヨタ自動車(株)お客様相談センター 0800-700-7700(9時~18時)(カタログのご請求は24時間受付)]

ウエルキャブで  
お出かけしよう。



TOYOTA ウェルキャブシリーズ

トヨタウエルキャブ総合展示場 トヨタハートフルプラザ

札幌 011-611-8739 千葉 043-241-1488 千葉中央 043-302-8111

東京 03-3332-3811 名古屋 052-400-8739 神戸 078-366-1616

広島 082-501-1222 福岡 092-477-6187

ウエルキャブの展示場所が検索できます。 <http://toyota.jp/welcab/search>

※営業時間、定休日等については、各展示場にお問い合わせください。

BetterCare 冊28号 2004年10月 平成16年10月31日発行(第8巻第4号) 通巻第28号 発行編集人・川上一郎 発行株式会社芳林社 〒160-0022 東京都新宿区新宿1-14-6 御苑ビル3F 定価340円(本体314円)

# バリアフリーでいい旅を

## リフト付きバスでゆったり 車いすのまま温泉に

障害者や高齢者が安心して楽しめるバリアフリーの旅行が広がっている。旅にはボランティアが参加して介助したり、行程がゆったりと組まれたり。受け入れ態勢を整える宿泊施設も増え、介護や福祉の専門知識を備えた旅行ガイドの育成も始まった。

(大久保孝子)

東京都杉並区の久保田幸子さん(63)は、年数回の旅行を何よりも楽しみにしている。小児まひのため車いすで生活する久保田さんが参加するのは、高齢者や障



## 参加者同士交流も魅力

だ。このツアーは、車いすでも乗り降りしやすいリフト付きバスで観光地を回る。全体の行程はゆったり設定され、参加者一人ひとりに目が行き届くよう、定員は通常のツアーより少なめの

だ。と人の迷惑になるのでは、という不安があった。参加できなかった。バリアフリーツアーだと気軽に参加できます」と久保田さんは話す。

6年前に原因不明の眼底出血で視力を失った静岡県藤枝市の近藤喜代志さん(71)も旅行を楽しむ1人だ。「目が不自由になったときは、大好きな旅行に行けなくなったのが、とてもつらかった。特に温泉の場合、妻以外のだれかに頼まないといけないので、結局あきらめていました」と言う。

20〜25人。添乗員のほかに必要に応じてサポーターと呼ばれる介助員が同行し、車いすを押ししたり、入浴を手伝ったりする。宿泊先も、車いすのまま使えるトイレやスロープなどがついている旅館やホテルを選んでいる。

「健常者と一緒のツアー

週1回通っている訓練施設とアドバイスもされた。近畿日本ツーリストがバリアフリーのパックツアーを始めたのは95年から。昨年から同社から独立した会社「クニフツーリズム」がバリアフリー部門を引き継ぎ、現在は年間国内外合わせて約2千人が参加するという。長橋正巳ライフケアサービス事業部長は「この10年でツアーの参加者は10倍に増えました」という。

## 法が後押しし進む人材育成

こうした広がり背景には、ホテルや旅館のバリアフリー化促進を定めたハービル法(94年施行)や、交通バリアフリー法(00年施行)などでハード面の環境整備が進んだことがある。

京成ホテル(千葉市)は、車いすのほか、タッチ

「JTBやクラフツーリズムなどのほか、「チケットラベルセンター」(名古屋)や「ベルテンポ・トラベル・アンド・コンサルタンツ」(東京都中央区)など、専門のバリアフリー旅行業者も誕生している。

から「障害者旅行論」の授業を始めた。駿台トラベル&ホテル専門学校(東京都豊島区)も今年度、トラベル学科に福祉旅行専攻を設け、新年度からは「ユニバーサルツーリズム学科」を新設する。実際に車いすで街に出たり、視覚障害者と一緒に歩いたりする授業が予定され、小野鎮学科長は「ハード面は整備されつつあるが、ソフト面の人材育成はまだだ。現場でしっかり対応できる人材を送り出していきたい」と話している。

四国八十八カ所霊場巡りには、車いすの人、盲導犬を連れて人など、様々な障害者が参加した。昨年10月/クラフツーリズム提供

旅行をサポートする人材育成も進みつつある。流通経済大(茨城県龍ヶ崎)国際観光学科では、01年度